

令和6年度予算の主な事業

第4回（2月）定例会で可決された令和6年度予算の中から、主な事業を紹介します。

学校給食 公会計事業



▲栄養バランスの取れた学校給食

予算額

7億5,300万円

市立小中学校の児童生徒に安全・安心な学校給食を提供するものです。また、昨年度に引き続き、約10%の増額分を公費負担とすることで、家計への負担軽減と給食の質の確保を図ります。

予防接種事業



予算額

5億3,150万円

予防接種法に基づき、諸感染症を予防するための各種予防接種を実施するほか、令和6年度は新たに50歳以上の市民を対象とした帯状疱疹（ほうしん）ワクチン接種費用の助成を行うものです。



▲大雨等による浸水被害軽減のため、市街地等にたまった雨水をポンプで強制的に河川に排出する排水機場

常襲浸水地域の浸水被害を軽減するため、大平江川排水機場・井戸川雨水貯留池の工事の実施及び西添町に新たな排水ポンプ施設を増設するとともに、市民の防災意識の向上を図るため、内水ハザードマップの作成に向けた浸水解析を実施するものです。

総合的治水対策 整備事業

予算額

2億6,500万円

公共交通 ネットワーク 形成事業



▲令和6年度に実証運行を行う夜間乗合タクシー

予算額

8,200万円

路線バスを補完する夜間乗合タクシーの実証運行や、沼津駅・沼津港間における自動運転実証調査をはじめとした交通DXの推進等により、公共交通の利便性向上及び利用促進に取り組むものです。

安全な 地域づくり 推進事業



▲災害時に情報収集や指揮命令等を行う災害対策本部

予算額

4,000万円

激甚化・頻発化する風水害や甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震などへの災害対応を強化するため、新たな災害情報共有システムの構築・運用を行うものです。

市役所新時代 創造プロジェクト



▲若手職員を中心に組織するプロジェクトチーム

予算額

2億7,937万円

市役所の全庁的な職員意識改革・人事評価改革・広報改革・職員採用改革・ICT改革に取り組むプロジェクトチームの発案により、デジタル技術の利活用などを推進するものです。

こども家庭センター 開設



▲保健センターに4月1日からこども家庭センターが開設

予算額

1,130万円

すべての妊産婦、子育て家庭及び子どもに対する相談支援をこれまで以上に一体的に行い、妊娠期からの悩みや不安などに切れめなく相談できる体制を強化するため、こども家庭センターを開設するものです。